危機管理 4-1

防犯

基本方向

市民、地域、関係機関の連携を強化し、自主的な防犯活動の支援や地域の防犯意識の高揚、防犯環境の整備に取り組み、犯罪のない明るいまちを築きます。

現状と課題

巧妙化する犯罪の手口

本市の犯罪発生件数は、年間710件（令和元年度実績）となっており年々減少傾向にあります。市内で発生した犯罪の多くは窃盗ですが、インターネットや電話を利用した特殊詐欺など手口が巧妙化した犯罪も発生しています。今後も摂津警察署や防犯協会等の関係機関と連携し、犯罪の傾向に応じた啓発活動を推進するとともに、地域での自主的な防犯活動を支援していく必要があります。また、被害に遭われた方に対しては、「摂津市犯罪被害者等支援条例」に基づき、総合的な支援をしていく必要があります。

安全で明るい地域に向けて

本市では、犯罪の未然防止と、安全で明るい地域づくりの一環として防犯灯を約6500灯（令和元年度末時点）設置してきました。今後も、自治会・町会をはじめとする地域と連携し、適正管理と新規設置の検討を進め、夜間の安全を確保していく必要があります。

また、犯罪発生の未然防止はもとより、犯罪捜査等における立証にもつながる防犯カメラについては、適正な管理に努めるとともに、犯罪の動向を注視し、より効果の高い箇所への設置等を検討していく必要があります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

分野計画

地域防犯力の向上

- 啓発活動の推進
- 自主防犯組織の支援

防犯環境の整備

- 防犯灯の設置・維持管理
- 防犯カメラの設置・維持管理

犯罪被害者の救済

- 犯罪被害者の支援

指標（KPI）

重要業績評価指標	基準値	目標値（令和7年度）
犯罪発生件数	702件	460件 ↘
「摂津市の治安は良いと思う」と回答した市民の割合	75.1%（令和2年度）	90.0% ↗